

英語が開く、見知らぬ世界への扉。 子どもたちの楽しい未来を見つめたい。



マリ-英会話楽校 焼津市石津447
代表 嶋 麻里 氏

POSITION

英会話学校勤務を経て、2004年に独立。静岡市・谷田と焼津市の公共施設で教室を運営し、今年4月に念願の「教室」をオープンした。嶋さんは、自分の心に触れたものご丁寧につき合う。そして、知らないものを知ることも、知っているものを知る過程が楽しいことを知っている。嶋さんは、インテリジェントを通して英語が世の中にあると、インテリジェントの世界があるというのを子どもたちに伝え、子どもたちは見知らぬ世界への扉を、英語を使って少しずつ開けていく。

大学では、児童心理学を学んだが、子どもが大好きというわけでもなかった。「子ども」の精神的成長に興味があった。子どもたちには英語を教えるのではなく、子どもと一緒に楽しむ。教室は子どもたちが楽しく

子どもたちの親、そして嶋さんが作る小さな社会が成り立つ。「まずは、あたたかいクラスを作っていくことを目標に、子供たちが安心してクラス楽しいクラスをみんなで作っていきます」。幼い子どもたちは3年を経た頃から「インテリジェント」がとれるようになっていく。そして英語で「インテリジェント」をとりながらゆずり合いや思いやりの心など集団の中でふるまい方を学び、みんなの前で英語を話すことで、新しいことに一歩踏み出す勇気や達成感を体得していくのだ。

クラスの楽しい雰囲気は英語の成果に波動する。子どもたちは毎日で英語のCDを聴くことになっているが、幼い子どもたちにとって学習の継続はなかなか難しい。クラスが楽しければ自分からCDを聴くようになり、日常に普通に英語があるようになると、教室のレッスンを結ぶようになると、「子どもが楽しんでレッスンを受ける」と、体中の細胞が喜んで「イキキ」して英語を吸収するようになります。「教室では、I can speak」を中心に英語に親しみ、歌、Dance、Story & Activities、そのほか、この繰り返しで、「英語の言葉」に降りてきてもらいます。「とにかく英語を口にしてみる」ことが大事だと思っています。自分の口で伝える。その瞬間から「インテリジェント」が始まります。

現在2歳児から中学一年生までの生徒が嶋さんのレッスンを受けており、大人クラスとして初心者向けのレッスンも開講している。今後はオリジナル教材の開発や幼児がより楽しく集中して学べるようなシステムを構築していく予定だ。